

4

直近加入の生命保険（個人年金保険を含む）

直近加入の生命保険（個人年金保険を含む）とは

（1）民保

2016（平成28）年から2021（令和3）年の本調査実施時点までの間に、いずれかの世帯員が加入した民保の生命保険のうち最も契約日の新しい生命保険契約のことを指している。これには下取り制度（転換制度）を利用して加入した生命保険契約も含まれる。

ここでの各項目の算出方法を、式に表すと次のとおりである。

$$\text{各加入年次の割合} = \frac{\text{各加入年次の選択肢を選択した世帯の総数}}{\text{民保の生命保険に加入している世帯の数}} \times 100$$

*各加入年次の割合については、2015（平成27）年以前に加入した世帯も含めて算出している。

上記以外は2016（平成28）年以降に民保の生命保険に加入している世帯を対象に、以下のように算出している。

$$\text{各加入者（被保険者）の割合} = \frac{\text{各加入者の選択肢を選択した世帯の総数}}{\text{2016（平成28）年以降に民保の生命保険に加入した世帯員のいる世帯の数}} \times 100$$

（2）かんぽ生命

かんぽ生命の直近加入契約の加入理由は最も契約日の新しい生命保険契約を対象に質問しているが、加入年次による絞り込みは行っていない。

※直近加入の期間

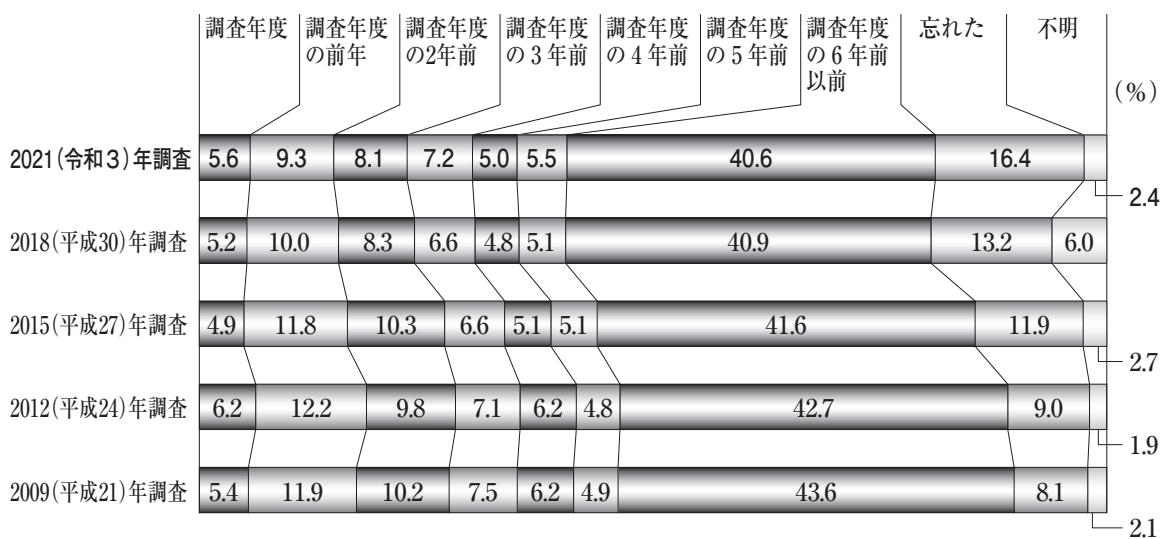
- ・「2021（令和3）年調査」…2016（平成28）年から2021（令和3）年の本調査時点までの間
- ・「2018（平成30）年調査」…2013（平成25）年から2018（平成30）年の本調査時点までの間
- ・「2015（平成27）年調査」…2010（平成22）年から2015（平成27）年の本調査時点までの間
- ・「2012（平成24）年調査」…2007（平成19）年から2012（平成24）年の本調査時点までの間
- ・「2009（平成21）年調査」…2004（平成16）年から2009（平成21）年の本調査時点までの間

(1) 直近加入の民間生命保険

(ア) 直近加入契約（民保）の加入年次

民保加入世帯（かんぽ生命を除く）における直近に加入した民保契約の加入年次をみると、「調査年度（2021（令和3）年）」5.6%、「調査年度の前年（2020（令和2）年）」9.3%、「調査年度の2年前（2019（令和元）年）」8.1%となっており、最近3年間に加入した割合は22.9%となっている。（図表I-109）

〈図表I-109〉 直近加入契約（民保）の加入年次



*かんぽ生命を除く

*各調査年度の加入年次別の割合は以下の表のようになっている

調査年度\加入年次	2021(令和3)年 年	2020(令和2)年 年	2019(令和元)年 年	2018(平成30)年 年	2017(平成29)年 年	2016(平成28)年 年	2015(平成27)年 年	2014(平成26)年 年	2013(平成25)年 年	2012(平成24)年 年	2011(平成23)年 年	2010(平成22)年 年	2009(平成21)年 年	2008(平成20)年 年	2007(平成19)年 年	2006(平成18)年 年	2005(平成17)年 年	2004(平成16)年 年
2021(令和3)年 調査	5.6	9.3	8.1	7.2	5.0	5.5												
2018(平成30)年 調査				5.2	10.0	8.3	6.6	4.8	5.1									
2015(平成27)年 調査							4.9	11.8	10.3	6.6	5.1	5.1						
2012(平成24)年 調査										6.2	12.2	9.8	7.1	6.2	4.8			
2009(平成21)年 調査													5.4	11.9	10.2	7.5	6.2	4.9

(イ) 直近加入契約（民保）の加入者（被保険者）

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、その加入者をみると、「世帯主」が59.0%（前回61.7%）となっており、次いで「配偶者」が23.6%（前回23.5%）、「子ども（計）」が14.9%（前回13.1%）の順となっている。（図表I-110）

〈図表I-110〉 直近加入契約（民保）の加入者（被保険者）

(%)

	世帯主	配偶者	子ども (計)	子ども (未婚で 就学前・ 就学中)	子ども (未婚で 就学終了)	子ども (既婚)・ 子どもの 配偶者	その他	不明
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	59.0	23.6	14.9	7.1	7.2	0.6	1.1	1.4
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	61.7	23.5	13.1	5.1	6.9	1.1	0.9	0.8
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	57.1	23.4	17.3	8.2	7.6	1.6	1.5	0.7
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	56.5	21.4	19.8	8.9	8.9	2.0	1.2	1.0
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	57.0	21.2	19.3	7.9	9.4	1.9	1.1	1.4

* かんぽ生命を除く

(ウ) 直近加入契約（民保）の加入決定者

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、配偶者がいる世帯に、直近の加入に対し誰が最終的に加入を決定したかを尋ねたところ、「世帯主」が54.8%（前回55.1%）、「配偶者」が31.1%（前回31.0%）、「夫婦や家族で相談」が7.9%（前回8.5%）、「子ども」が4.8%（前回4.8%）となっている。（図表I-111）

〈図表I-111〉 直近加入契約（民保）の加入決定者

(%)

	世帯主	配偶者	夫婦や家族 で相談	子ども	その他	不明
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	54.8	31.1	7.9	4.8	1.0	0.4
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	55.1	31.0	8.5	4.8	0.2	0.4
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	49.7	33.2	9.7	5.7	1.6	0.1
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	50.3	32.6	9.4	6.5	1.1	0.1
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	47.7	31.1	14.5	—	6.4	0.4

* かんぽ生命を除く

* 配偶者がいる世帯を対象に集計

* 「子ども」は2012（平成24）年調査から設けている

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」、「配偶者」とともに自分自身の契約に関しては、本人が決定した割合が高く、「世帯主」75.9%、「配偶者」72.8%となっている。（図表 I - 112）

〈図表 I - 112〉 直近加入契約（民保）の加入決定者（加入者（被保険者）別）
(%)

	世帯主	配偶者	夫婦や家族 で相談	子ども	その他	不明
全 体	54.8	31.1	7.9	4.8	1.0	0.4
世 帯 主	75.9	16.3	7.3	0.1	0.4	0.0
配 偶 者	18.5	72.8	8.4	0.0	0.3	0.0
子 ど も（計）	30.9	27.7	10.6	29.3	1.6	0.0
子ども（未婚で就学前・就学中）	44.9	38.2	14.6	1.1	1.1	0.0
子ども（未婚で就学終了）	19.8	19.8	6.6	51.6	2.2	0.0

*かんぽ生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

（工）直近加入契約（民保）の保険料負担者

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、配偶者がいる世帯に、直近に加入した契約の保険料を誰が負担しているかを尋ねたところ、「世帯主」が75.4%（前回75.8%）、「配偶者」が16.3%（前回16.3%）、「子ども」が6.0%（前回5.8%）となっている。

2015（平成27）年調査以降はほぼ同水準で推移している。（図表 I - 113）

〈図表 I - 113〉 直近加入契約（民保）の保険料負担者

(%)

	世帯主	配偶者	子ども	その他	不明
2021（令和3）年調査 (2016～2021年に加入)	75.4	16.3	6.0	1.7	0.6
2018（平成30）年調査 (2013～2018年に加入)	75.8	16.3	5.8	1.6	0.5
2015（平成27）年調査 (2010～2015年に加入)	76.2	14.5	7.0	1.9	0.4
2012（平成24）年調査 (2007～2012年に加入)	75.9	14.0	8.5	1.5	0.1
2009（平成21）年調査 (2004～2009年に加入)	75.2	13.7	—	10.3	0.8

*かんぽ生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

*「子ども」は2012（平成24）年調査から設けている

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」の契約は世帯主自身が負担している割合が9割を超えており、対して、「配偶者」の契約では配偶者自身の負担割合は5割程度となっている。また、「子ども（未婚で就学前・就学中）」の契約では「世帯主」（83.1%）の負担割合が8割を超えており。（図表I-114）

〈図表I-114〉 直近加入契約（民保）の保険料負担者（加入者（被保険者）別）
(%)

	世帯主	配偶者	子ども	その他	不明
全 体	75.4	16.3	6.0	1.7	0.6
世 帯 主	96.4	2.6	0.3	0.7	0.1
配偶者	42.3	56.7	0.0	1.0	0.0
子 ど も （ 計 ）	50.0	9.0	37.8	3.2	0.0
子ども（未婚で就学前・就学中）	83.1	12.4	1.1	3.4	0.0
子ども（未婚で就学終了）	22.0	6.6	68.1	3.3	0.0

*かんば生命を除く

*配偶者がいる世帯を対象に集計

（才）直近加入契約（民保）の加入理由

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入理由をみると、「希望にあった生命保険だったので」が42.3%（前回39.3%）と最も多くなっている。次いで「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」21.4%（前回24.8%）、「掛金が安かったので」18.7%（前回21.3%）、「営業職員や代理店の人が知り合いだったので」15.1%（前回14.2%）の順となっている。

前回に比べ「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」が3.4ポイント、「健全な経営をしている会社だったので」が2.3ポイント、それぞれ減少している。(図表I-115)

〈図表 I-115〉 直近加入契約（民保）の加入理由（複数回答）

* かんぽ生命を除く

選択肢を「商品要因」、「加入機関（会社）要因」、「営業職員要因」、「その他」と統合してみると（統合方法の詳細は下記注釈を参照）、「商品要因」が58.9%（前回57.6%）、「営業職員要因」が45.1%（前回47.0%）、「加入機関（会社）要因」が15.3%（前回17.7%）となっている。（図表I-116）

〈図表I-116〉 直近加入契約（民保）の加入理由（要因別）（複数回答）
(%)

	商品要因	営業職員要因	加入機関（会社）要因	その他	不明
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	58.9	45.1	15.3	18.5	0.5
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	57.6	47.0	17.7	16.6	0.8
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	51.9	47.2	14.6	18.4	0.7
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	52.7	47.8	17.6	19.4	0.8
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	51.8	47.9	22.0	18.6	1.2

*かんぽ生命を除く

*選択肢の統合の詳細は、以下のとおりとなっている。

商品要因………「希望にあった生命保険だったので」「従来なかったような新しい生命保険だったので」「掛金が安かったので」

「民間の生命保険会社の生命保険、個人年金保険は利回りがいいから」のいずれかを選択。

営業職員要因………「営業職員や代理店の人が親身になって説明してくれたので」「営業職員や代理店の人が知り合いだったので」

「以前から加入していた営業職員や代理店の人にすすめられたので」「営業職員がFPの資格を持つなど、専門性を有していたので」のいずれかを選択。

加入機関（会社）要因………「加入後のサービスがよいと思ったので」

「テレビ、新聞、雑誌などで、しばしば見聞きしている会社なので」「以前加入したことのある会社だったので」「健全な経営をしている会社だったので」のいずれかを選択。

その他………「通信販売やインターネットなどにより、手続きが簡単にできたので」

「家族、友人、知人などにすすめられたので」「その他」のいずれかを選択。

(力) 直近加入契約（民保）の加入目的

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が59.0%（前回57.1%）と最も多く、次いで「万一のときの家族の生活保障のため」52.4%（前回49.5%）、「万一のときの葬式代のため」12.4%（前回15.4%）の順となっている。

前回と比較すると、「万一のときのローン等の返済のため」が1.3ポイント増加し、「万一のときの葬式代のため」が3.0ポイント、「貯蓄のため」が2.8ポイント、「相続および相続税の支払を考えて」が1.2ポイント、それぞれ減少している。（図表I-117）

〈図表I-117〉 直近加入契約（民保）の加入目的（複数回答）

(%)

	医療費や入院費のため	障のため	万のときの家族の生活保	万一のときの葬式代のため	老後の生活資金のため	ための教育・結婚資金のため	え災害・交通事故などにそな	貯蓄のため	介護費用のため	済のため	財産づくりのため	考えて	相続および相続税の支払を	税金が安くなるので	の土地・家屋の取得・増改築	そ の 他	不 明
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	59.0	52.4	12.4	9.1	7.8	7.8	5.8	4.8	3.4	2.5	1.6	1.6	0.2	1.1	0.6		
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	57.1	49.5	15.4	10.8	7.4	8.3	8.6	3.8	2.1	2.4	2.8	1.7	0.1	1.3	0.4		
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	58.5	53.1	13.0	7.7	7.9	7.7	6.1	2.9	1.9	1.2	1.8	1.5	0.4	0.7	0.5		
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	59.6	51.7	13.7	8.6	8.6	8.8	6.7	3.1	1.9	0.9	0.8	1.4	0.1	1.5	0.7		
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	59.7	53.8	13.1	8.2	9.2	12.0	4.6	2.8	2.7	0.9	0.9	1.9	0.3	0.9	1.1		

* かんぽ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「万一のときの家族の生活保障のため」は「29歳以下」から「45～49歳」の層で、「子どもの教育・結婚資金のため」は「29歳以下」から「35～39歳」の層で、「万一のときの葬式代のため」は「70～74歳」から「75～79歳」の層で、「老後の生活資金のため」は「55～59歳」の層で、「介護費用のため」は「55～59歳」から「60～64歳」の層でそれぞれ高くなっているなど、世代ごとの保障ニーズの違いを反映した結果となっている。(図表I-118)

〈図表I-118〉 直近加入契約(民保)の加入目的(世帯主年齢別)(複数回答)(%)

	医療費や入院費のため	障のため	万のときの家族の生活保	万一のときの葬式代のため	老後の生活資金のため	ため子どもの教育・結婚資金の	えて災害・交通事故などにそな	貯蓄のため	介護費用のため	済のため	財産づくりのため	考えて相続および相続税の支払を	税金が安くなるので	の土地・家屋の取得・増改築	その他の	不明
全 体	59.0	52.4	12.4	9.1	7.8	7.8	5.8	4.8	3.4	2.5	1.6	1.6	0.2	1.1	0.6	
29歳以下	46.7	68.9	6.7	8.9	15.6	4.4	6.7	2.2	6.7	2.2	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	
30～34歳	44.8	74.3	6.7	8.6	25.7	6.7	5.7	1.9	5.7	1.9	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
35～39歳	49.2	64.2	5.0	6.7	25.0	7.5	8.3	0.8	2.5	3.3	0.8	2.5	0.8	0.8	0.8	
40～44歳	57.5	66.4	8.8	5.3	8.0	3.5	3.5	2.7	5.3	3.5	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	
45～49歳	58.3	62.6	9.4	10.1	5.8	7.2	5.8	2.2	2.9	2.2	0.0	2.2	0.0	0.7	0.0	
50～54歳	59.6	53.9	10.6	9.9	6.4	11.3	7.1	2.8	2.1	0.7	0.0	0.7	0.7	2.1	0.0	
55～59歳	60.3	50.0	14.3	16.7	1.6	5.6	6.3	9.5	5.6	4.8	2.4	2.4	0.0	0.8	0.8	
60～64歳	63.9	42.6	12.3	7.4	2.5	9.8	4.9	13.9	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.8	0.0	
65～69歳	64.8	39.3	14.5	8.3	0.7	6.2	4.8	7.6	2.1	2.8	2.8	0.7	0.0	1.4	0.7	
70～74歳	67.6	33.3	22.2	10.2	0.0	9.3	4.6	4.6	2.8	3.7	5.6	1.9	0.0	1.9	2.8	
75～79歳	67.2	31.0	29.3	8.6	1.7	13.8	5.2	1.7	3.4	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
80～84歳	75.9	34.5	24.1	3.4	3.4	10.3	6.9	3.4	3.4	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	
85～89歳	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	
90歳以上	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

*かんぽ生命を除く

*80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入者（被保険者）別にみると、「万一のときの家族の生活保障のため」および「万一のときの葬式代のため」は「世帯主」がそれぞれ61.4%、15.7%と高く、「子どもの教育・結婚資金のため」は「子ども（未婚で就学前・就学中）」が34.8%と高くなっている。（図表I-119）

〈図表I-119〉 直近加入契約（民保）の加入目的（加入者（被保険者）別）（複数回答）（%）

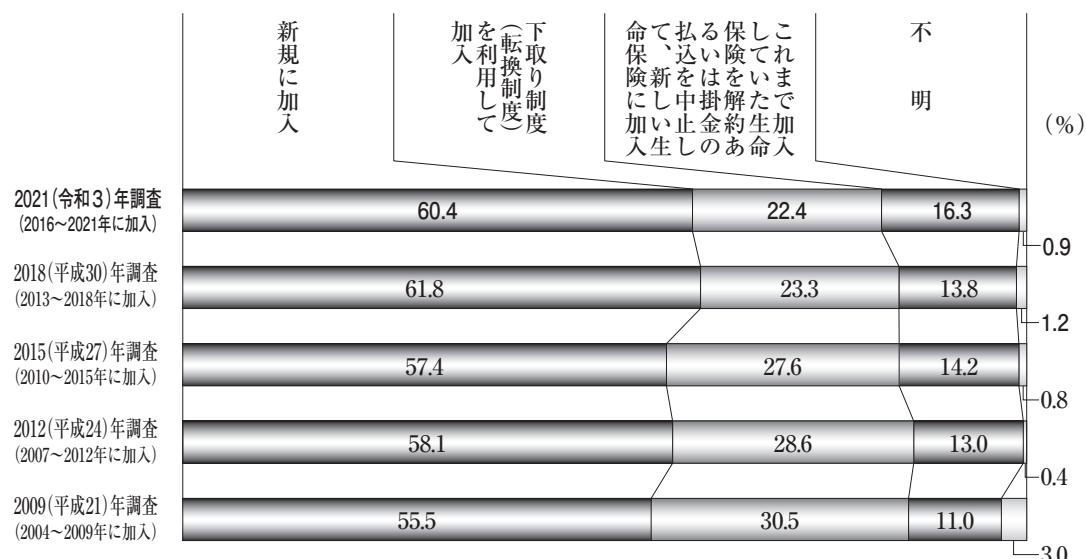
	医療費や入院費のため	障万のためのときの家族の生活保	万一のときの葬式代のため	老後の生活資金のため	ための子どもの教育・結婚資金のため	災害・交通事故などにそなえて	貯蓄のため	介護費用のため	済万一のときのローン等の返済	財産づくりのため	考えて相続および相続税の支払を	税金が安くなるので	の土地・家屋の取得・増改築	その他の	不明
全 体	59.0	52.4	12.4	9.1	7.8	7.8	5.8	4.8	3.4	2.5	1.6	1.6	0.2	1.1	0.6
世 帯 主	58.3	61.4	15.7	9.0	6.9	7.4	3.9	4.8	5.4	2.6	1.6	1.3	0.3	0.9	0.3
配 偶 者	62.4	40.9	8.7	9.7	3.4	6.0	7.0	7.0	0.7	2.3	1.7	2.0	0.3	1.3	0.3
子 ど も （ 計 ）	57.4	35.6	5.3	10.1	18.6	11.2	10.1	2.1	0.5	3.2	1.1	1.6	0.0	1.6	1.6
子ども（未婚で就学前・就学中）	48.3	30.3	3.4	3.4	34.8	12.4	9.0	2.2	1.1	1.1	1.1	2.2	0.0	3.4	1.1
子ども（未婚で就学終了）	67.0	40.7	6.6	15.4	4.4	8.8	11.0	2.2	0.0	4.4	1.1	1.1	0.0	0.0	2.2

*かんぽ生命を除く

（キ）直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入方法をみると、「新規に加入」が60.4%（前回61.8%）と最も多く、次いで「下取り制度（転換制度）を利用して加入」22.4%（前回23.3%）、「これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛け金の払込を中止して、新しい生命保険に加入」16.3%（前回13.8%）の順となっている。（図表I-120）

〈図表I-120〉 直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）



*かんぽ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「新規に加入」は「29歳以下」(80.0%)、および「30~34歳」(73.3%)で高くなっている。「下取り制度（転換制度）を利用して加入」は「50~54歳」(31.2%)および「55~59歳」(30.2%)で高くなっている。(図表 I - 121)

〈図表 I - 121〉 直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）
(世帯主年齢別)

	新規に加入	て下取り制度（転換制度）を利用し加入	これまで加入していいた生命保険の払込を中止し、新しい生命保険に加入	不明
全 体	60.4	22.4	16.3	0.9
29歳以下	80.0	4.4	15.6	0.0
30~34歳	73.3	8.6	18.1	0.0
35~39歳	68.3	18.3	12.5	0.8
40~44歳	61.9	16.8	21.2	0.0
45~49歳	53.2	22.3	24.5	0.0
50~54歳	55.3	31.2	13.5	0.0
55~59歳	57.1	30.2	11.9	0.8
60~64歳	62.3	26.2	11.5	0.0
65~69歳	52.4	26.2	17.9	3.4
70~74歳	60.2	23.1	14.8	1.9
75~79歳	55.2	24.1	17.2	3.4
80~84歳	55.2	24.1	20.7	0.0
85~89歳	87.5	0.0	12.5	0.0
90歳以上	33.3	66.7	0.0	0.0

* かんぽ生命を除く

*80~84歳、85~89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入者（被保険者）別にみると、「下取り制度（転換制度）を利用して加入」および「これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入」では、「世帯主」がそれぞれ26.2%、20.0%と高く、「新規に加入」では「子ども（未婚で就学前・就学中）」が89.9%と高くなっている。（図表 I-122）

〈図表 I-122〉 直近加入契約（民保）の加入方法（新規加入か否か）
(加入者（被保険者）別)

	新規に加入	て下取り制度（転換制度）を利用し	これまで加入していた生命保険を解約あるいは掛金の払込を中止して、新しい生命保険に加入	不明	(%)
全 体	60.4	22.4	16.3	0.9	
世 帯 主	53.2	26.2	20.0	0.5	
配 偶 者	64.8	20.1	14.8	0.3	
子 ど も (計)	81.9	11.7	5.9	0.5	
子ども（未婚で就学前・就学中）	89.9	9.0	1.1	0.0	
子ども（未婚で就学終了）	78.0	13.2	8.8	0.0	

*かんぽ生命を除く

(ク) 直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入時の情報入手経路をみると、「生命保険会社の営業職員」が45.1%（前回46.5%）と最も多く、次いで「保険代理店」13.9%（前回15.8%）、「友人・知人」12.7%（前回10.3%）、「家族・親類」12.6%（前回9.9%）の順となっている。

前回と比較すると、「家族・親類」が2.7ポイント増加し、「商品カタログ・パンフレット」と「郵便局の窓口や営業職員」がともに2.8ポイント減少している。（図表I-123）

〈図表I-123〉 直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（複数回答）

(%)

生命保険会社の営業職員 保険代理店	営業職員 保険代理店 (金融機関を除く) の 窓口や 営業職員	保険代理店 ショッピング等 (金融機関を除く保険 の 窓口や 営業職員)	友人 ・ 知 人	家族 ・ 親 類	銀行 ・ 証券会社 の 窓口や 営業職員	商品カタログ ・ パンフレット	税理士・公認会計士 ファイナンシャル・プランナー や	テレビ ・ 新聞 ・ 雑誌 ・ 書籍	生命保険 に 関 する 情 報 を 提 供 し て	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や 営業職員	生命保険 に 関 する 情 報 を 提 供 し て を 受 け 付 け る 第 三 者 機 関	ダイレクトメール	職場の同僚・上司	その会社や代理店のホームページ	決算報告書など生命保険会社の経 営状況に関する資料	その 他	不明		
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	45.1	13.9	8.6	5.5	12.7	12.6	6.4	5.6	5.5	4.9	3.8	2.8	2.8	2.4	2.4	2.2	1.7	0.3	3.7	0.5
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	46.5	15.8	9.1	7.3	10.3	9.9	5.6	8.4	6.4	5.6	4.1	2.7	5.6	2.1	1.8	2.7	2.3	0.1	2.4	0.6
2015(平成27)年調査 (2010~2018年に加入)	48.9	12.9	8.6	4.3	10.9	11.5	6.3	6.3	3.9	5.3	2.7	1.5	3.8	1.9	1.5	3.1	1.6	0.2	2.5	0.8
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	52.7	10.4	—	—	14.0	11.4	4.1	8.5	2.4	6.6	2.7	0.9	3.7	2.5	2.2	3.0	1.9	0.1	2.1	0.7
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	55.6	9.7	—	—	12.9	10.5	2.6	8.9	2.6	8.9	1.9	0.4	5.0	1.5	2.4	2.9	1.4	0.3	2.6	1.0

* かんぽ生命を除く

* 2015（平成27）年調査より「保険代理店」を2つに細分化し、「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」と「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」としている

選択肢を「生保チャネル」と「非生保チャネル」、「人を介したチャネル」と「人を介さないチャネル」の4つの組合せに分類してみると、「生保・人を介したチャネル」が60.1%（前回62.7%）と最も多く、次いで「非生保・人を介したチャネル」40.3%（前回37.8%）、「生保・人を介さないチャネル」8.8%（前回10.8%）の順となっている。（図表I-124）

〈図表I-124〉 直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（チャネル別）（複数回答）

	生保・人を介したチャネル	非生保・人を介したチャネル	生保・人を介さないチャネル	非生保・人を介さないチャネル	その他	不明	(%)
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	60.1	40.3	8.8	8.1	3.7	0.5	
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	62.7	37.8	10.8	8.9	2.4	0.6	
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	61.4	37.6	8.6	7.6	2.5	0.8	
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	63.0	37.7	11.6	8.8	2.1	0.7	
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	64.1	34.2	11.7	10.5	2.6	1.0	

*かんぽ生命を除く

*選択肢の統合の詳細は、以下のとおりとなっている。

生保・人を介したチャネル・・・・「生命保険会社の営業職員」

「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」

「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」

「生命保険会社の窓口」

のいずれかを選択。

非生保・人を介したチャネル・・・・「郵便局の窓口や営業職員」

「銀行・証券会社の窓口や営業職員」

「家族・親類」

「友人・知人」

「職場の同僚・上司」

「ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士」

「生命保険に関する情報提供や相談を受け付ける第三者機関」

のいずれかを選択。

生保・人を介さないチャネル・・・・「決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料」

「商品カタログ・パンフレット」

「ダイレクトメール」

「その会社や代理店のホームページ」

のいずれかを選択。

非生保・人を介さないチャネル・・・「テレビ・新聞・雑誌・書籍」

「生命保険に関する情報を提供しているホームページ」

のいずれかを選択。

その他・・・・・・・・「その他」を選択。

世帯主年齢別にみると、『生保・人を介したチャネル』は「50～54歳」で68.1%と高く、『非生保・人を介したチャネル』は「30～34歳」(57.1%)で、『非生保・人を介さないチャネル』は「65～69歳」(13.8%)で、それぞれ高くなっている。

個々のチャネルについてみると、「生命保険会社の営業職員」は「50～54歳」で、「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」は「35～39歳」で、「ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士」は「40～44歳」で、「生命保険に関する情報を提供しているホームページ」は「29歳以下」で、それぞれ高くなっている。(図表I-125)

〈図表I-125〉 直近加入契約（民保）の加入時の情報入手経路（世帯主年齢別）
(複数回答)

	生保・人を介したチャネル	生命保険会社の営業職員	保険代理店	保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口	非生保・人を介したチャネル	友人・知人	家族・親類	銀行・証券会社の窓口や営業職員	ファイナンシャル・プランナーや税理士・公認会計士	郵便局の窓口や営業職員	職場の同僚・上司	生保・人を介さないチャネル	商品カタログ・パンフレット	ダイレクトメール	決算報告書など生命保険会社の経営状況に関する資料	その会社や代理店のホームページ	非生保・人を介さないチャネル	(%)						
																		その他の	不明					
全 体	60.1	45.1	13.9	8.6	5.5	2.8	40.3	12.7	12.6	6.4	5.5	2.8	2.4	2.2	8.8	5.6	2.4	1.7	0.3	8.1	4.9	3.8	3.7	0.5
29歳以下	51.1	33.3	17.8	6.7	11.1	2.2	48.9	24.4	13.3	0.0	2.2	2.2	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	2.2	13.3	4.4	0.0	
30～34歳	56.2	36.2	16.2	8.6	7.6	3.8	57.1	20.0	27.6	3.8	9.5	1.9	1.0	1.9	3.8	2.9	0.0	1.0	0.0	4.8	1.0	3.8	1.0	1.0
35～39歳	57.5	39.2	17.5	7.5	10.0	5.0	41.7	13.3	12.5	5.8	5.8	0.8	3.3	4.2	5.8	4.2	1.7	0.8	0.8	3.3	0.0	3.3	5.8	0.0
40～44歳	54.9	35.4	13.3	7.1	7.1	6.2	46.0	15.0	15.0	3.5	10.6	0.9	3.5	2.7	9.7	7.1	0.0	1.8	0.9	7.1	4.4	3.5	5.3	0.0
45～49歳	63.3	45.3	16.5	9.4	7.2	2.9	38.8	12.9	15.1	3.6	8.6	2.2	1.4	2.2	11.5	7.2	2.2	3.6	0.7	7.2	3.6	4.3	1.4	0.7
50～54歳	68.1	59.6	8.5	5.7	2.8	0.7	34.0	12.1	9.9	5.7	4.3	2.1	0.7	2.1	11.3	6.4	4.3	2.8	0.7	3.5	2.1	1.4	2.8	0.0
55～59歳	65.1	52.4	12.7	7.1	5.6	3.2	35.7	10.3	8.7	7.1	7.1	4.0	0.8	1.6	8.7	4.0	3.2	1.6	0.0	6.3	4.8	1.6	2.4	0.0
60～64歳	59.8	47.5	13.1	9.8	4.1	0.8	36.1	13.9	8.2	4.1	3.3	1.6	3.3	3.3	10.7	9.0	0.8	2.5	0.0	10.7	8.2	4.9	4.9	0.0
65～69歳	58.6	44.1	13.1	10.3	2.8	3.4	39.3	7.6	11.7	11.0	4.1	3.4	2.8	0.7	7.6	6.2	2.8	1.4	0.0	13.8	8.3	6.2	4.1	0.7
70～74歳	63.0	50.0	13.0	8.3	4.6	0.9	34.3	9.3	7.4	10.2	1.9	3.7	1.9	1.9	12.0	6.5	5.6	0.9	0.0	11.1	8.3	3.7	3.7	0.9
75～79歳	53.4	41.4	12.1	12.1	0.0	1.7	41.4	10.3	13.8	10.3	0.0	6.9	6.9	1.7	12.1	6.9	5.2	0.0	0.0	10.3	10.3	0.0	3.4	0.0
80～84歳	58.6	34.5	24.1	20.7	3.4	0.0	37.9	6.9	6.9	10.3	0.0	13.8	3.4	0.0	6.9	0.0	3.4	3.4	0.0	13.8	10.3	3.4	10.3	3.4
85～89歳	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
90歳以上	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	

* かんぽ生命を除く

* 80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(ヶ) 直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入時の商品比較経験をみると、「特に比較はしなかった」が67.7%（前回66.7%）と最も多く、次いで「他の民間の生命保険会社の生命保険（かんぽ生命を除く）」26.5%（前回26.9%）、「県民共済・生協等の生命共済」5.2%（前回3.9%）の順となっている。（図表I-126）

〈図表I-126〉 直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験（複数回答）

(%)

	他の民間の生命保険会社の生命（かんぽ生命を除く）	共済・生協等の生命	かんぽ生命	JAの生命共済	社債、損害保険以外の預貯金、商品公品	特に比較はしなかった	不明
2021（令和3）年調査（2016～2021年に加入）	26.5	5.2	2.7	1.7	0.9	67.7	1.0
2018（平成30）年調査（2013～2018年に加入）	26.9	3.9	3.8	1.5	0.8	66.7	1.2
2015（平成27）年調査（2010～2015年に加入）	24.7	4.6	3.6	1.3	0.9	69.6	1.1
2012（平成24）年調査（2007～2012年に加入）	27.1	6.8	2.9	1.5	0.7	66.4	0.9
2009（平成21）年調査（2004～2009年に加入）	25.0	5.7	2.9	2.4	0.9	67.7	1.1

*かんぽ生命を除く

*2012（平成24）年調査まで「郵便局の簡易保険（かんぽ生命を除く）」を選択肢に入っていた（2012（平成24）年調査：3.2%、2009（平成21）年調査：3.9%）

世帯主年齢別にみると、「他の民間の生命保険会社の生命保険（かんぽ生命を除く）」は「49歳以下」で3割を超えており。（図表I-127）

〈図表I-127〉 直近加入契約（民保）の加入時の商品比較経験（世帯主年齢別）
(複数回答)

	を除く他の民間の生命保険の生命（かんぽ生命会社）	共済・生協等の生命	かんぽ生命	JAの生命共済	社債（損保や株式等）	生命保険以外の預貯金、商品公品	特に比較はしなかった	不明	(%)
全 体	26.5	5.2	2.7	1.7	0.9	67.7	1.0		
29歳以下	35.6	11.1	4.4	2.2	2.2	62.2	0.0		
30～34歳	33.3	1.9	2.9	1.0	1.0	62.9	1.0		
35～39歳	32.5	2.5	3.3	2.5	0.8	64.2	0.0		
40～44歳	34.5	7.1	3.5	1.8	0.0	59.3	0.0		
45～49歳	30.2	8.6	5.8	2.2	0.7	64.7	0.7		
50～54歳	21.3	2.8	2.1	0.7	0.0	73.8	0.0		
55～59歳	24.6	3.2	0.0	0.0	0.8	72.2	0.8		
60～64歳	21.3	7.4	1.6	0.8	1.6	73.8	0.0		
65～69歳	24.8	4.1	2.1	1.4	1.4	69.0	2.1		
70～74歳	18.5	10.2	1.9	3.7	0.0	67.6	2.8		
75～79歳	20.7	3.4	1.7	3.4	3.4	70.7	3.4		
80～84歳	27.6	0.0	6.9	6.9	0.0	65.5	3.4		
85～89歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5		
90歳以上	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0		

* かんぽ生命を除く

* 80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(コ) 直近加入契約（民保）の加入チャネル

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、加入経路（加入チャネル）を尋ねたところ、「生命保険会社の営業職員」が55.9%（前回53.7%）と最も多く、次いで「保険代理店の窓口や営業職員」15.3%（前回17.8%）、「通信販売」6.4%（前回6.5%）となっている。

前回に比べ「地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員」が2.1ポイント増加し、「郵便局の窓口や営業職員」が1.6ポイント減少している。（図表I-128）

〈図表I-128〉 直近加入契約（民保）の加入チャネル

生命保険会社の営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通じて	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	都市銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員（ゆうちょ銀行を含む）	地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や銀行員	信託銀行の窓口や銀行員	証券会社の窓口や営業職員	保険代理店の窓口や営業職員	保険代理店（金融機関を除く）の営業職員	勤め先や労働組合等を通じて	その他		不明	
																	(%)			
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	55.9	44.5	11.5	6.4	4.0	2.5	3.2	2.6	6.2	6.0	1.7	3.9	0.4	0.2	15.3	6.6	8.7	3.6	6.1	0.6
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	53.7	43.2	10.5	6.5	3.3	3.3	2.9	4.2	5.4	4.9	2.7	1.8	0.4	0.5	17.8	7.8	9.9	3.4	5.6	0.6
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	59.4	47.5	12.0	5.6	2.2	3.4	3.1	3.0	5.5	5.3	2.3	2.7	0.3	0.2	13.7	4.7	9.0	4.8	4.1	0.7
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	68.2	53.0	15.2	8.8	4.5	4.3	2.5	2.1	4.3	4.2	1.9	2.3	0.1	0.1	6.9	—	—	3.2	3.2	0.8
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	68.1	52.5	15.7	8.7	2.9	5.7	1.9	2.9	2.6	2.6	1.1	1.1	0.4	0.0	6.4	—	—	3.0	4.9	1.3

* かんぽ生命を除く

* 2015(平成27)年調査より「保険代理店の窓口や営業職員」を「保険代理店（金融機関を除く保険ショップ等）の窓口」と「保険代理店（金融機関を除く）の営業職員」の2つに細分化しているため、単純に時系列比較はできない

世帯主年齢別にみると、「生命保険会社の営業職員」は「50～54歳」で、「インターネットを通して」は「40～44歳」で、「テレビ・新聞・雑誌などを通して」は「75～79歳」で、「銀行・証券会社を通して」は「65～69歳」で、それぞれ高くなっている。(図表I-129)

〈図表I-129〉 直近加入契約(民保)の加入チャネル(世帯主年齢別)

(%)

生命保険会社の営業職員	家庭に来る営業職員	職場に来る営業職員	通信販売	インターネットを通じて	テレビ・新聞・雑誌などを通じて	生命保険会社の窓口	郵便局の窓口や営業職員	銀行・証券会社を通して	銀行を通して	信託銀行の窓口や銀行員 地方銀行、信用金庫、信用組合の窓口や 銀行員	都市銀行の窓口や銀行員(ゆうちょ銀行 を含む)	証券会社の窓口や営業職員	保険代理店(金融機関を除く)の営業職員 等)の窓口や営業職員	勤め先や労働組合等を通じて	その他	不明				
全 体	55.9	44.5	11.5	6.4	4.0	2.5	3.2	2.6	6.2	6.0	1.7	3.9	0.4	0.2	15.3	6.6	8.7	3.6	6.1	0.6
29歳以下	55.6	42.2	13.3	2.2	2.2	0.0	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	11.1	2.2	8.9	0.0
30～34歳	53.3	37.1	16.2	7.6	6.7	1.0	3.8	3.8	3.8	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	19.0	9.5	9.5	1.9	5.7	1.0
35～39歳	52.5	43.3	9.2	2.5	2.5	0.0	5.8	2.5	5.0	5.0	0.0	3.3	1.7	0.0	20.0	10.0	10.0	5.0	6.7	0.0
40～44歳	50.4	42.5	8.0	8.8	8.0	0.9	6.2	1.8	3.5	3.5	0.9	2.7	0.0	0.0	15.9	8.8	7.1	4.4	8.8	0.0
45～49歳	56.8	44.6	12.2	6.5	5.0	1.4	2.9	0.7	2.9	2.9	0.7	2.2	0.0	0.0	18.7	7.9	10.8	5.0	6.5	0.0
50～54歳	68.8	53.2	15.6	2.8	1.4	1.4	0.7	2.1	5.7	5.7	1.4	4.3	0.0	0.0	9.2	4.3	5.0	5.0	5.7	0.0
55～59歳	57.9	46.0	11.9	4.8	3.2	1.6	3.2	2.4	7.9	7.1	4.8	2.4	0.0	0.8	16.7	7.1	9.5	2.4	4.0	0.8
60～64歳	62.3	48.4	13.9	7.4	4.9	2.5	3.3	2.5	4.1	4.1	0.8	3.3	0.0	0.0	10.7	2.5	8.2	4.9	4.9	0.0
65～69歳	51.7	42.1	9.7	7.6	3.4	4.1	1.4	3.4	11.7	11.0	3.4	6.2	1.4	0.7	14.5	6.2	8.3	3.4	5.5	0.7
70～74歳	52.8	45.4	7.4	8.3	4.6	3.7	2.8	1.9	9.3	9.3	2.8	6.5	0.0	0.0	13.9	3.7	10.2	1.9	7.4	1.9
75～79歳	46.6	37.9	8.6	13.8	0.0	13.8	0.0	5.2	8.6	8.6	0.0	6.9	1.7	0.0	13.8	3.4	10.3	3.4	5.2	3.4
80～84歳	48.3	37.9	10.3	10.3	3.4	6.9	3.4	10.3	10.3	10.3	0.0	10.3	0.0	0.0	13.8	6.9	6.9	0.0	3.4	0.0
85～89歳	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
90歳以上	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

* かんぽ生命を除く

* 80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(サ) 直近加入契約（民保）の保険料

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料の払込方法を尋ねたところ、「月・半年・年ごとに支払っている」が86.5%（前回79.6%）と最も多く、次いで「一時払にした」6.6%（前回11.2%）が続いている。

前回と比較すると、「月・半年・年ごとに支払っている」が6.9ポイント増加し、「一時払にした」が4.6ポイント減少している（図表I-130）

〈図表I-130〉 直近加入契約（民保）の保険料払込方法

(%)

	一時払にした	月・半年・年ごとに支払っている	月・半年・年ごとの支払いは完了	不明
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	6.6	86.5	3.3	3.6
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	11.2	79.6	3.7	5.6
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	9.7	84.4	3.2	2.6
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	7.1	88.6	2.3	2.0
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	7.0	87.8	1.9	3.3

* かんぽ生命を除く

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料を月・半年・年ごとに支払っている世帯に対して、その年間払込保険料を尋ねたところ、平均18.9万円（前回20.4万円）となっている。

分布をみると、「6万円未満」と「6~12万円未満」がともに22.4%（前回20.3%、19.4%）と最も多く、次いで「12~18万円未満」20.7%（前回17.6%）が続いている。

前回と比較すると、「24~30万円未満」が2.7ポイント減少している。（図表I-131）

〈図表I-131〉 直近加入契約（民保）の年間払込保険料



* かんぽ生命を除く

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」で20.6万円と最も高くなっている。（図表I-132）

〈図表I-132〉 直近加入契約（民保）の年間払込保険料（加入者（被保険者）別）
(%)

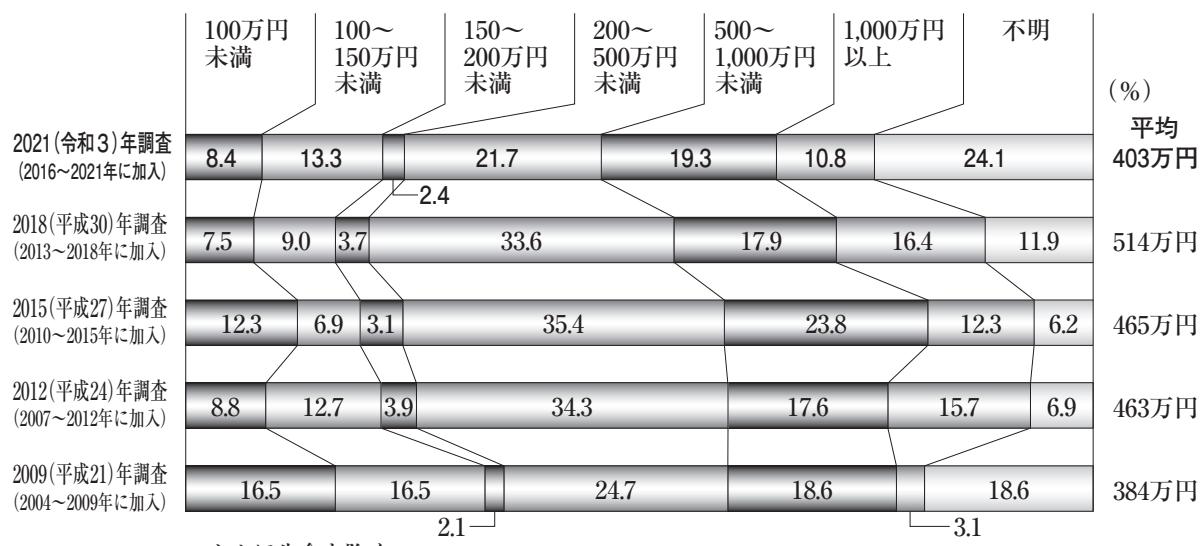
	6万円未満	6～12万円未満	12～18万円未満	18～24万円未満	24～30万円未満	30～36万円未満	36～42万円未満	42万円以上	不明	平均(万円)
全 体	22.4	22.4	20.7	10.0	5.8	5.0	4.1	7.9	1.7	18.9
世 帯 主	17.4	21.0	19.8	12.8	6.5	5.3	5.6	9.6	2.0	20.6
配 偶 者	25.8	27.8	21.8	6.3	3.6	4.4	2.8	5.6	2.0	16.4
子ども（計）	37.1	19.5	22.0	4.4	6.3	4.4	0.6	5.0	0.6	16.0
子ども（未婚で就学前・就学中）	46.6	19.2	13.7	4.1	8.2	2.7	0.0	5.5	0.0	17.1
子ども（未婚で就学終了）	29.6	19.8	30.9	4.9	2.5	4.9	1.2	4.9	1.2	14.9

*かんぽ生命を除く

一方、直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）のうち、直近に加入した契約の保険料を一時払で支払った世帯に対して、その保険料を尋ねたところ、403万円（前回514万円）となっている。

分布をみると、「200～500万円未満」が21.7%（前回33.6%）と最も多く、次いで「500～1,000万円未満」19.3%（前回17.9%）が続いている。（図表I-133）

〈図表I-133〉 直近加入契約（民保）の一時払保険料



*かんぽ生命を除く

(シ) 直近加入契約（民保）の保険種類

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）について、直近に加入した契約の保険種類をみると、「終身保険」が27.8%（前回35.3%）と最も多く、次いで「医療保険」27.0%（前回23.3%）、「ガン保険」10.5%（前回7.3%）となっている。このうち遺族保障機能を主目的とした「終身保険」、「定期保険」、「定期付終身保険」の割合は39.9%を占めている。

前回に比べ、「医療保険」が3.7ポイント、「ガン保険」が3.2ポイント、「介護保険」が1.1ポイント、それぞれ増加し、「終身保険」が7.5ポイント、「定期付終身保険」が1.7ポイント、それぞれ減少している。（図表 I - 134）

〈図表 I - 134〉 直近加入契約（民保）の保険種類

(%)

	終身保険	定期保険	定期付終身保険	利率変動型積立終身保険	養老保険	医療保険	ガン保険	介護保険	こども保険	変額保険	生活障害・就業不能保障保険	その他の生命保険	個人年金保険	変額個人年金保険	不明
2021(令和3)年調査 (2016~2021年に加入)	27.8	8.7	3.3	2.8	3.2	27.0	10.5	1.9	2.5	0.8	2.6	2.8	4.0	1.0	1.0
2018(平成30)年調査 (2013~2018年に加入)	35.3	9.2	5.0	2.1	4.6	23.3	7.3	0.8	2.3	1.1	1.5	2.0	3.7	0.6	1.3
2015(平成27)年調査 (2010~2015年に加入)	35.4	7.6	6.9	3.5	3.1	24.4	6.5	0.7	4.1	0.6	—	2.2	3.6	0.5	0.8
2012(平成24)年調査 (2007~2012年に加入)	38.4	8.8	7.9	3.9	4.4	19.7	6.5	0.5	3.6	0.1	—	1.7	3.1	0.3	1.1
2009(平成21)年調査 (2004~2009年に加入)	35.5	7.9	8.8	4.4	6.2	20.3	5.2	0.6	4.2	0.4	—	1.7	2.5	0.8	1.4

* かんぽ生命を除く

* 「生活障害・就業不能保障保険」は、2018（平成30）年調査より追加

加入者（被保険者）別にみると、「世帯主」で「終身保険」（31.6%）、「定期付終身保険」（4.7%）、「生活障害・就業不能保障保険」（3.5%）が、「配偶者」では「ガン保険」（17.1%）、「養老保険」（5.4%）が、子ども（計）では「医療保険」（33.5%）および「こども保険」（13.8%）が、それぞれ高くなっている。（図表 I - 135）

〈図表 I - 135〉 直近加入契約（民保）の保険種類（加入者（被保険者）別）

(%)

	終身保険	定期保険	定期付終身保険	利率変動型積立終身保険	養老保険	医療保険	ガン保険	介護保険	こども保険	変額保険	生活障害・就業不能保障保険	その他の生命保険	個人年金保険	変額個人年金保険	不明
全 体	27.8	8.7	3.3	2.8	3.2	27.0	10.5	1.9	2.5	0.8	2.6	2.8	4.0	1.0	1.0
世 帯 主	31.6	9.7	4.7	2.7	2.0	24.7	10.1	2.2	0.5	0.8	3.5	2.7	3.2	0.8	0.8
配偶者	24.8	6.0	1.3	2.0	5.4	29.2	17.1	2.3	0.0	1.0	0.3	2.7	5.0	1.3	1.3
子 ど も（計）	19.1	7.4	1.6	2.1	5.3	33.5	2.7	0.5	13.8	0.5	3.2	3.2	5.9	1.1	0.0
子ども（未婚で就学前・就学中）	14.6	7.9	1.1	1.1	2.2	33.7	3.4	0.0	29.2	0.0	0.0	4.5	2.2	0.0	0.0
子ども（未婚で就学終了）	23.1	7.7	1.1	3.3	8.8	34.1	1.1	1.1	0.0	1.1	6.6	1.1	8.8	2.2	0.0

*かんぽ生命を除く

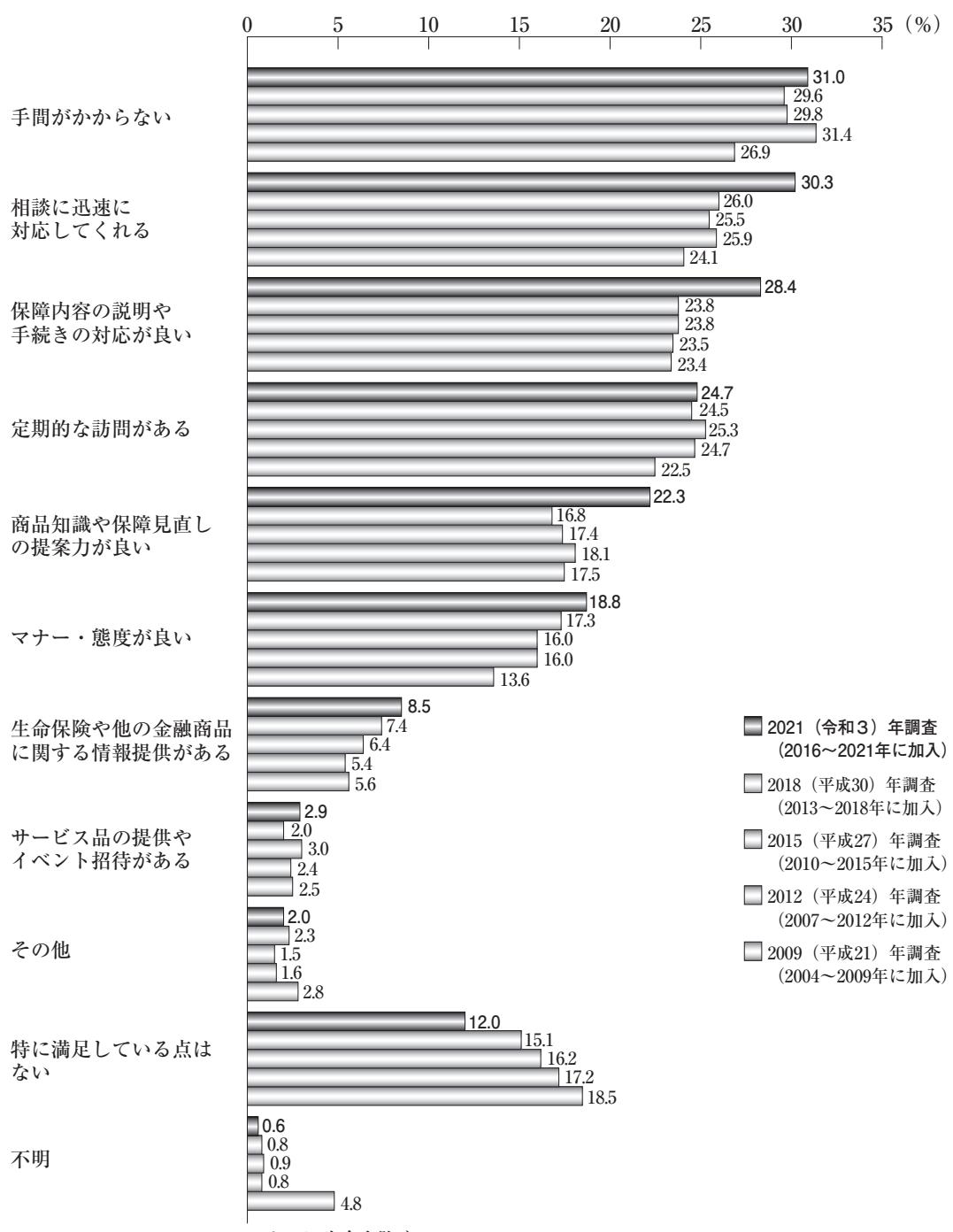
(ス) 直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度

(a) 加入チャネルに満足している点

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、加入したときのチャネルについて現在どのような点に満足しているかを尋ねたところ、「手間がかからない」が31.0%（前回29.6%）と最も多く、次いで「相談に迅速に対応してくれる」30.3%（前回26.0%）、「保障内容の説明や手続きの対応が良い」28.4%（前回23.8%）となっている。

前回と比較すると、「商品知識や保障見直しの提案力が良い」が5.5ポイント、「保障内容の説明や手続きの対応が良い」が4.6ポイント、「相談に迅速に対応してくれる」が4.3ポイント、それぞれ増加している。（図表I-136）

〈図表I-136〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに満足している点（複数回答）



加入年次別にみると、「相談に迅速に対応してくれる」および「保障内容の説明や手続きの対応が良い」は「2020（令和2）年に加入」以降で3割を超えており、「商品知識や保障見直しの提案力が良い」は「2021（令和3）年に加入」で35.1%と高くなっている。（図表I-137）

〈図表I-137〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに満足している点（加入年次別）
(複数回答)

	手間がかかるない	相談に迅速に対応してくれる	応保が良い内容の説明や手続きの対	定期的な訪問がある	商品知識や保障見直しの提案	力が良い	マナー・態度が良い	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	サービス品の提供やイベント招待がある	その他	特に満足している点はない	不明
2021(令和3)年に加入	30.5	36.2	32.8	28.7	35.1	23.6	11.5	3.4	1.7	7.5	0.0	
2020(令和2)年に加入	27.4	37.2	33.7	26.4	27.4	20.1	10.4	3.1	2.8	9.4	0.0	
2019(令和元)年に加入	33.2	24.4	26.4	22.4	21.6	18.8	8.4	3.6	0.8	12.0	1.2	
2018(平成30)年に加入	31.4	29.1	27.8	25.1	15.2	20.2	6.7	2.2	2.2	13.0	0.4	
2017(平成29)年に加入	31.0	29.0	22.6	25.2	18.7	15.5	7.7	2.6	1.3	14.8	1.3	
2016(平成28)年に加入	33.7	23.8	24.4	20.3	14.0	12.8	5.2	2.3	2.9	16.9	0.6	

*かんぽ生命を除く

*2021（令和3）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「相談に迅速に対応してくれる」は「30～34歳」で高く、「定期的な訪問がある」は「50～54歳」で高くなっている。(図表I-138)

〈図表I-138〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに満足している点
(世帯主年齢別) (複数回答)

	手間がかかるない	相談に迅速に対応してくれる	応保が障内容の説明や手続きの対応	定期的な訪問がある	力商品知識や保障見直しの提案	マナー・態度が良い	する生命保険や他の金融商品に関する情報提供	招待があるサービス品の提供やイベント	その他	特に満足している点はない	不明	(%)
全 体	31.0	30.3	28.4	24.7	22.3	18.8	8.5	2.9	2.0	12.0	0.6	
29歳以下	24.4	31.1	22.2	6.7	20.0	13.3	15.6	0.0	2.2	17.8	0.0	
30～34歳	34.3	39.0	30.5	22.9	23.8	17.1	9.5	4.8	1.0	14.3	1.0	
35～39歳	37.5	28.3	30.0	16.7	25.0	23.3	5.8	3.3	0.8	14.2	0.0	
40～44歳	31.9	30.1	26.5	20.4	23.9	19.5	10.6	3.5	2.7	13.3	0.0	
45～49歳	36.0	28.1	29.5	25.9	23.7	18.7	7.9	5.0	2.2	13.7	0.0	
50～54歳	33.3	33.3	35.5	33.3	28.4	24.1	9.2	0.7	0.7	8.5	0.0	
55～59歳	23.0	34.9	24.6	25.4	17.5	24.6	9.5	4.8	4.0	10.3	0.8	
60～64歳	23.8	27.0	32.8	27.0	22.1	16.4	8.2	1.6	2.5	10.7	0.8	
65～69歳	34.5	28.3	26.9	27.6	19.3	15.9	9.0	2.8	1.4	9.7	0.7	
70～74歳	25.9	22.2	23.1	28.7	19.4	14.8	6.5	1.9	1.9	15.7	0.9	
75～79歳	27.6	32.8	24.1	25.9	22.4	13.8	6.9	1.7	3.4	6.9	1.7	
80～84歳	44.8	27.6	31.0	20.7	10.3	6.9	0.0	3.4	3.4	10.3	0.0	
85～89歳	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	
90歳以上	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

*かんぽ生命を除く

*80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入チャネル別にみると、「家庭に来る営業職員」では「定期的な訪問がある」、「相談に迅速に対応してくれる」、「保障内容の説明や手続きの対応が良い」、「商品知識や保障見直しの提案力が良い」、「マナー・態度が良い」が、「通信販売」では「手間がかからない」がそれ各自高くなっている。また、「保険代理店の窓口や営業職員」では「商品知識や保障見直しの提案力が良い」、「生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある」が高くなっている。(図表 I - 139)

〈図表 I - 139〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに満足している点
(主な加入チャネル別) (複数回答)

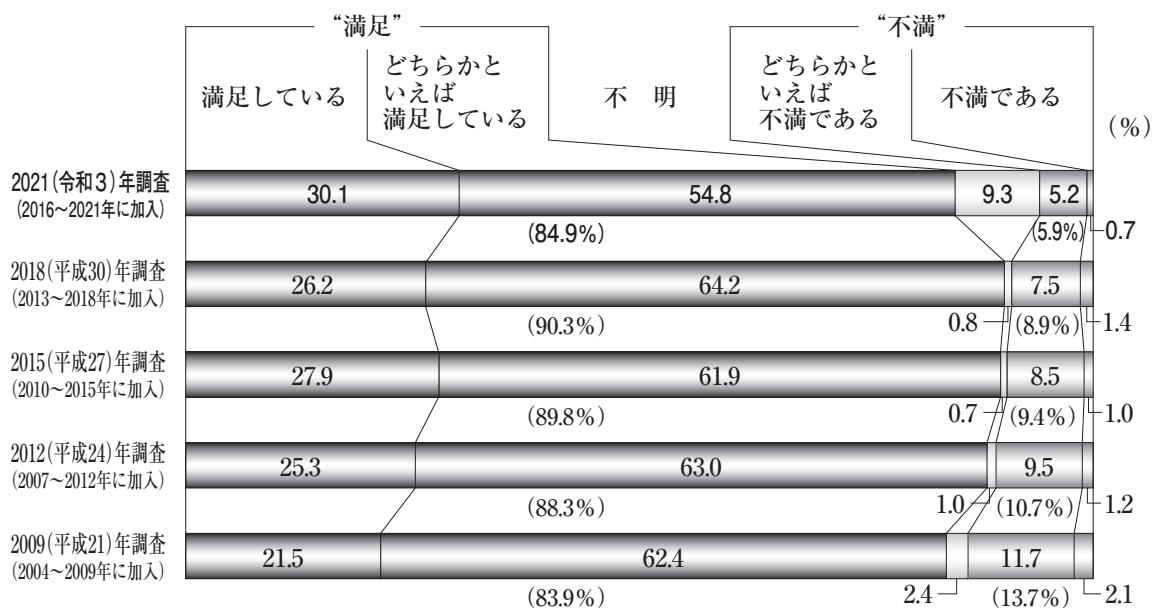
	手間がかからない	相談に迅速に対応してくれる	保障内容の説明や手続きの対応が良い	定期的な訪問がある	商品知識や保障見直しの提案力が良い	マナー・態度が良い	生命保険や他の金融商品に関する情報提供がある	サービス品の提供やイベント招待がある	その他	特に満足している点はない	不明
全 体	31.0	30.3	28.4	24.7	22.3	18.8	8.5	2.9	2.0	12.0	0.6
家庭に来る営業職員	22.1	35.1	31.7	38.0	26.4	25.5	7.7	3.6	1.2	10.7	0.0
職場に来る営業職員	27.6	29.0	25.5	36.6	19.3	23.4	5.5	4.8	1.4	12.4	0.0
通信販売	61.7	12.3	14.8	2.5	2.5	0.0	2.5	1.2	2.5	12.3	1.2
銀行・証券会社を通して	24.4	23.1	28.2	11.5	16.7	15.4	11.5	2.6	1.3	21.8	0.0
保険代理店の窓口や営業職員	32.6	35.8	33.7	9.8	30.1	17.1	16.1	0.5	0.5	10.9	0.0

* かんぽ生命を除く

(b) 加入チャネルに対する満足度

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、加入したときのチャネルについて現在どの程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が84.9%（前回90.3%）と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）5.9%（前回8.9%）を大きく上回っている。（図表I-140）

〈図表I-140〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度



* かんぽ生命を除く

加入年次別にみると、「満足している」の割合は加入年次が新しいほど高く、「2021（令和3）年に加入」で38.5%と最も高くなっている。（図表I-141）

〈図表I-141〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度（加入年次別）
(%)

	満足している	どちらかといえば満足している	満足	不明	不満	どちらかといえば不満である	不満である
2021(令和3)年に加入	38.5	52.9	91.4	6.9	1.7	1.7	0.0
2020(令和2)年に加入	34.4	52.8	87.2	9.4	3.5	3.1	0.3
2019(令和元)年に加入	31.2	53.2	84.4	8.8	6.8	6.0	0.8
2018(平成30)年に加入	26.9	57.8	84.8	8.5	6.7	5.8	0.9
2017(平成29)年に加入	24.5	57.4	81.9	9.7	8.4	7.7	0.6
2016(平成28)年に加入	22.1	55.8	77.9	12.8	9.3	7.6	1.7

* かんぽ生命を除く

* 2021（令和3）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「満足している」は「30～34歳」(41.0%)で、『不満』は「70～74歳」(11.1%)で高くなっている。(図表I-142)

〈図表I-142〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度（世帯主年齢別）
(%)

	満足している	満足どちらかといえど	満足	不明	不満	不満どちらかといえど	不満である
全 体	30.1	54.8	84.9	9.3	5.9	5.2	0.7
29歳以下	33.3	46.7	80.0	8.9	11.1	11.1	0.0
30～34歳	41.0	43.8	84.8	13.3	1.9	1.9	0.0
35～39歳	26.7	56.7	83.3	11.7	5.0	3.3	1.7
40～44歳	32.7	51.3	84.1	11.5	4.4	4.4	0.0
45～49歳	33.8	49.6	83.5	11.5	5.0	4.3	0.7
50～54歳	36.9	51.8	88.7	5.0	6.4	4.3	2.1
55～59歳	34.1	50.8	84.9	7.9	7.1	6.3	0.8
60～64歳	24.6	62.3	86.9	9.8	3.3	2.5	0.8
65～69歳	29.0	58.6	87.6	6.9	5.5	5.5	0.0
70～74歳	18.5	61.1	79.6	9.3	11.1	10.2	0.9
75～79歳	22.4	67.2	89.7	5.2	5.2	5.2	0.0
80～84歳	10.3	69.0	79.3	6.9	13.8	13.8	0.0
85～89歳	25.0	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
90歳以上	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*かんぽ生命を除く

*80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入チャネル別にみると、『満足』は「家庭に来る営業職員」で87.2%と高くなっている。(図表 I - 143)

〈図表 I - 143〉 直近加入契約（民保）の加入チャネルに対する満足度
(主な加入チャネル別)

(%)

	満足している	満足どちらかといいえば	満足	不明	不満	不満どちらかといいえば	不満である
全 体	30.1	54.8	84.9	9.3	5.9	5.2	0.7
家庭に来る営業職員	33.2	54.0	87.2	7.0	5.9	5.5	0.4
職場に来る営業職員	26.2	57.2	83.4	7.6	9.0	7.6	1.4
通信販売	18.5	65.4	84.0	12.3	3.7	2.5	1.2
銀行・証券会社を通して	25.6	52.6	78.2	19.2	2.6	1.3	1.3
保険代理店の窓口や営業職員	31.1	53.9	85.0	8.3	6.7	5.2	1.6

*かんぽ生命を除く

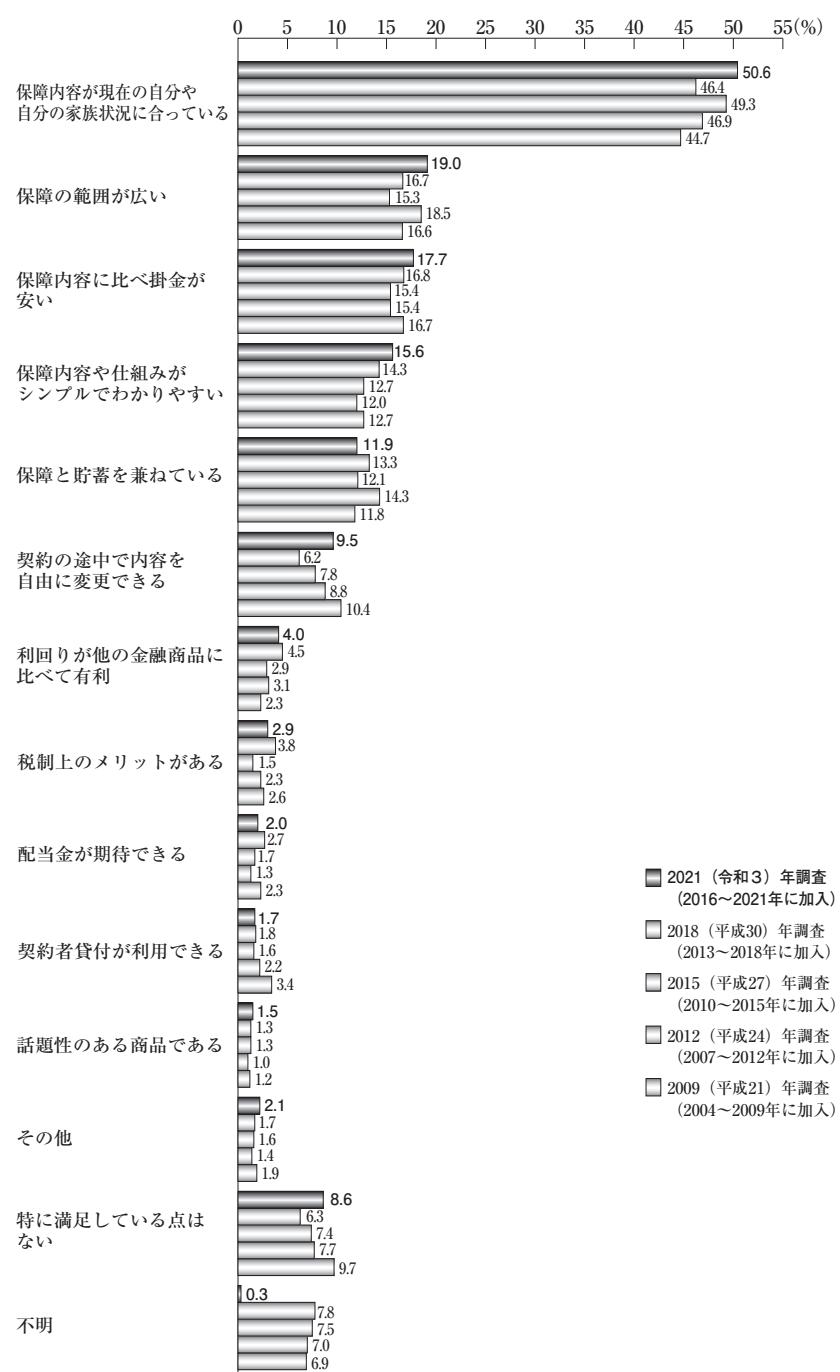
(セ) 直近加入契約（民保）の商品に対する満足度

(a) 商品に満足している点

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入了生命保険商品について現在どのような点に満足しているかを尋ねたところ、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている」が50.6%（前回46.4%）と最も多く、次いで「保障の範囲が広い」19.0%（前回16.7%）、「保障内容に比べ掛金が安い」17.7%（前回16.8%）となっている。

前回と比較すると、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている」が4.2ポイント、「契約の途中で内容を自由に変更できる」が3.3ポイント、それぞれ増加している。（図表I-144）

〈図表I-144〉 直近加入契約（民保）の商品に満足している点（複数回答）



世帯主年齢別にみると、「保障の範囲が広い」は「30～34歳」および「40～44歳」で高く、「保障内容に比べ掛金が安い」は「40～44歳」で、「保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい」は「65～69歳」でそれぞれ高くなっている。また、「保障と貯蓄を兼ねている」は「30～34歳」で、「利回りが他の金融商品に比べて有利」は「29歳以下」で、それぞれ高くなっている。(図表 I - 145)

〈図表 I - 145〉 直近加入契約（民保）の商品に満足している点（世帯主年齢別）
(複数回答)

															(%)	
	保障内容が現状に合っている自分	保障の範囲が広い	保障内容に比べ掛金が安い	保障内容や仕組みがシンプル	保障内容や仕組みがわかりやすい	保障と貯蓄を兼ねている	変更できる	契約の途中で内容を自由に	利回りが他の金融商品に比べて有利	税制上のメリットがある	配当金が期待できる	契約者貸付が利用できる	話題性のある商品である	その他	特に満足している点はない	不明
全 体	50.6	19.0	17.7	15.6	11.9	9.5	4.0	2.9	2.0	1.7	1.5	2.1	8.6	0.3		
29歳以下	53.3	13.3	6.7	17.8	11.1	8.9	13.3	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	15.6	0.0		
30～34歳	49.5	28.6	12.4	10.5	21.9	11.4	5.7	1.9	2.9	0.0	0.0	0.0	5.7	1.0		
35～39歳	45.8	22.5	18.3	13.3	14.2	10.0	1.7	1.7	0.0	1.7	0.8	1.7	10.0	0.0		
40～44歳	47.8	26.5	25.7	14.2	8.8	11.5	3.5	2.7	2.7	1.8	0.9	0.9	6.2	0.0		
45～49歳	58.3	15.8	20.1	15.1	5.0	11.5	5.0	4.3	2.2	2.2	0.0	0.7	7.2	0.0		
50～54歳	58.2	23.4	19.9	14.2	13.5	10.6	2.8	2.8	2.8	3.5	1.4	2.8	6.4	0.0		
55～59歳	51.6	16.7	16.7	13.5	12.7	11.9	5.6	3.2	1.6	3.2	3.2	2.4	8.7	0.0		
60～64歳	45.9	11.5	18.0	18.9	11.5	9.0	2.5	2.5	1.6	0.0	2.5	1.6	9.8	0.0		
65～69歳	44.1	19.3	20.0	23.4	10.3	4.1	4.1	3.4	2.1	0.7	2.8	3.4	9.7	0.7		
70～74歳	45.4	15.7	19.4	16.7	8.3	9.3	3.7	1.9	1.9	0.0	1.9	5.6	11.1	0.0		
75～79歳	58.6	15.5	10.3	17.2	17.2	3.4	1.7	1.7	1.7	3.4	3.4	5.2	5.2	0.0		
80～84歳	48.3	10.3	3.4	10.3	13.8	6.9	0.0	6.9	3.4	6.9	0.0	0.0	13.8	6.9		
85～89歳	75.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
90歳以上	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		

* かんぽ生命を除く

* 80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

加入保険種類別にみると、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っている」は「定期付終身保険」、「医療保険」で高く、「保障内容に比べ掛金が安い」は、「生活障害・就業不能保障保険」、「医療保険」、「定期保険」で高くなっている。

また、「保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい」は「ガン保険」、「医療保険」で高く、「保障と貯蓄を兼ねている」は「利率変動型積立終身保険」、「養老保険」、「個人年金保険」で高くなっている。(図表 I - 146)

〈図表 I - 146〉 直近加入契約（民保）の商品に満足している点（加入保険種類別）
(複数回答)

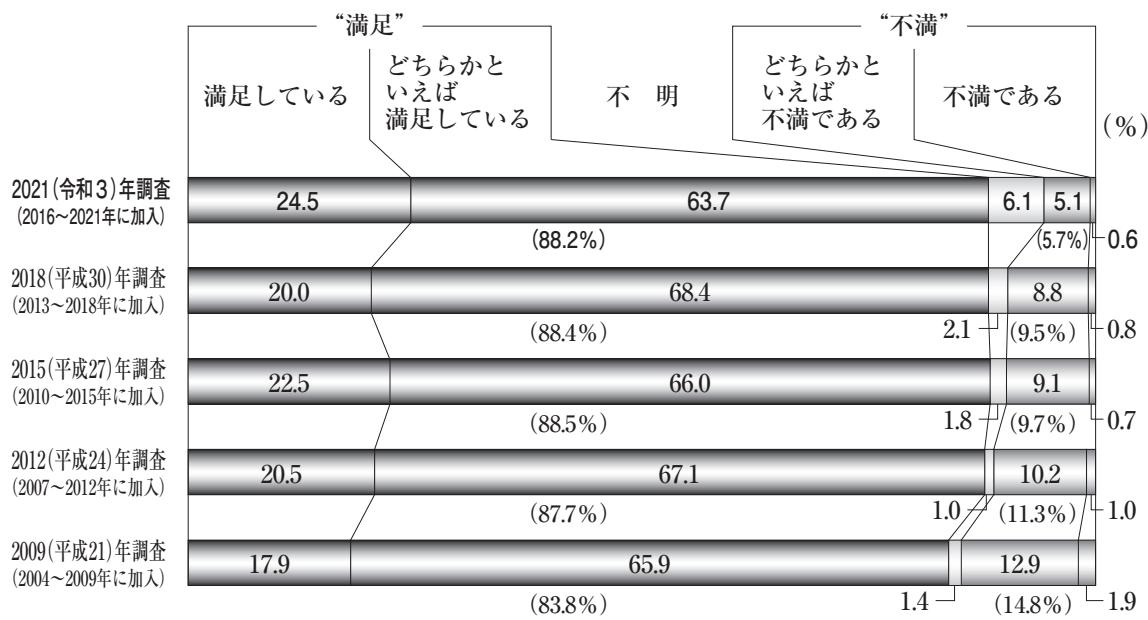
	分保障の家族内容が現在の自分に合っている自	保障の範囲が広い	保障内容に比べ掛金が安い	保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい	保障内容や仕組みがシンプルでわかりやすい	保障と貯蓄を兼ねている	保障と貯蓄を兼ねている	変更できる	契約の途中で内容を自由に変更できる	利回りが他の金融商品に比べて有利	税制上のメリットがある	配当金が期待できる	契約者貸付が利用できる	話題性のある商品である	その他	特に満足している点はない	不明	(%)
全 体	50.6	19.0	17.7	15.6	11.9	9.5	4.0	2.9	2.0	1.7	1.5	2.1	8.6	0.3				
終身保険	51.3	21.9	12.0	10.8	13.4	11.7	4.3	3.4	2.0	2.8	1.4	2.0	9.7	0.6				
定期保険	52.7	15.5	25.5	20.0	7.3	9.1	1.8	1.8	1.8	0.0	0.9	3.6	5.5	0.0				
定期付終身保険	71.4	31.0	4.8	7.1	9.5	19.0	2.4	7.1	0.0	2.4	0.0	2.4	7.1	0.0				
利率変動型積立終身保険	40.0	5.7	2.9	8.6	40.0	11.4	11.4	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	11.4	0.0				
養老保険	43.9	9.8	4.9	12.2	39.0	2.4	9.8	4.9	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	9.8	0.0			
医療保険	55.1	20.8	25.8	19.4	4.7	7.9	1.2	1.2	1.5	1.2	1.5	2.1	7.9	0.0				
ガン保険	45.1	21.1	23.3	22.6	1.5	9.0	1.5	1.5	0.8	2.3	3.0	3.0	3.0	9.8	0.0			
こども保険	41.9	9.7	0.0	19.4	19.4	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0			
生活障害・就業不能保障保険	60.6	27.3	33.3	12.1	9.1	15.2	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
個人年金保険	25.5	3.9	9.8	15.7	29.4	5.9	11.8	15.7	3.9	2.0	0.0	0.0	19.6	2.0				

*かんぽ生命を除く

(b) 商品に対する満足度

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入了生命保険商品について現在どの程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が88.2%（前回88.4%）と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）5.7%（前回9.5%）を大きく上回っている。（図表I-147）

〈図表I-147〉 直近加入契約（民保）の商品に対する満足度



*かんぽ生命を除く

加入年次別にみると、「満足している」は加入年次が新しいほど高く、「2021（令和3）年に加入」の層で30.5%と最も高くなっている。（図表I-148）

〈図表I-148〉 直近加入契約（民保）の商品に対する満足度（加入年次別）
(%)

	満足している	どちらかといえば満足している	満足	不明	不満	どちらかといえば不満である	不満である
2021(令和3)年に加入	30.5	59.8	90.2	5.7	4.0	3.4	0.6
2020(令和2)年に加入	29.2	63.2	92.4	4.5	3.1	2.8	0.3
2019(令和元)年に加入	26.0	60.0	86.0	7.6	6.4	6.0	0.4
2018(平成30)年に加入	22.9	65.0	87.9	6.7	5.4	4.9	0.4
2017(平成29)年に加入	18.1	69.0	87.1	5.2	7.7	6.5	1.3
2016(平成28)年に加入	16.3	67.4	83.7	7.0	9.3	8.1	1.2

*かんぽ生命を除く

*2021（令和3）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「満足している」は「30～34歳」(41.0%) および「40～44歳」(35.4%) で高くなっている。(図表 I - 149)

〈図表 I - 149〉 直近加入契約（民保）の商品に対する満足度（世帯主年齢別）
(%)

	満足している	満足どちらかといえども	満足	不明	不満	不満どちらかといえども	不満である
全 体	24.5	63.7	88.2	6.1	5.7	5.1	0.6
29歳以下	28.9	53.3	82.2	6.7	11.1	11.1	0.0
30～34歳	41.0	51.4	92.4	6.7	1.0	1.0	0.0
35～39歳	25.0	64.2	89.2	5.8	5.0	3.3	1.7
40～44歳	35.4	54.9	90.3	4.4	5.3	5.3	0.0
45～49歳	27.3	61.9	89.2	5.0	5.8	5.8	0.0
50～54歳	27.7	64.5	92.2	4.3	3.5	1.4	2.1
55～59歳	22.2	65.1	87.3	7.9	4.8	4.8	0.0
60～64歳	17.2	69.7	86.9	8.2	4.9	3.3	1.6
65～69歳	22.1	65.5	87.6	5.5	6.9	6.2	0.7
70～74歳	12.0	70.4	82.4	7.4	10.2	10.2	0.0
75～79歳	12.1	74.1	86.2	6.9	6.9	6.9	0.0
80～84歳	6.9	75.9	82.8	3.4	13.8	13.8	0.0
85～89歳	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
90歳以上	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

* かんぽ生命を除く

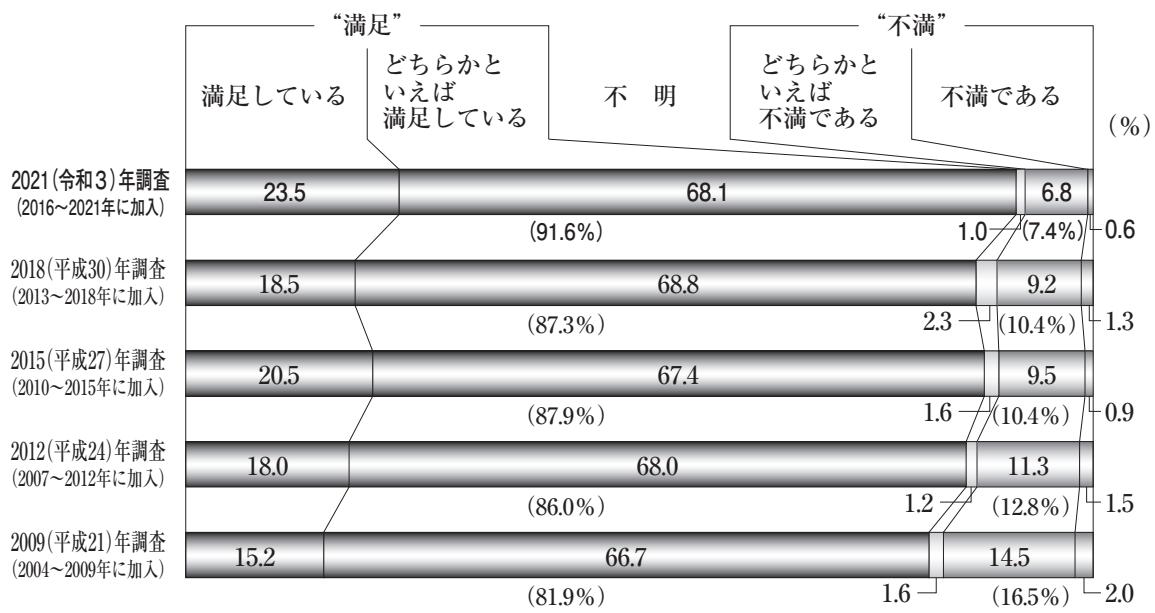
* 80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(ソ) 直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入了生命保険会社の商品やサービス全般について現在どの程度満足しているかを尋ねたところ、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）が91.6%（前回87.3%）と、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）7.4%（前回10.4%）を大きく上回っている。

前回と比較すると、『満足』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）は4.3ポイント増加し、『不満』（「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計）は3.0ポイント減少している。（図表I-150）

〈図表I-150〉 直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度



加入年次別にみると、「満足している」は加入年次が新しいほど高く、「2021（令和3）年に加入」の層で29.9%と最も高くなっている。（図表I-151）

〈図表I-151〉 直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度（加入年次別）

	満足している	どちらかといえど満足している	満足	不明	不満	（%）	
						どちらかといえど満足である	不満である
2021（令和3）年に加入	29.9	63.2	93.1	0.6	6.3	6.3	0.0
2020（令和2）年に加入	27.4	67.4	94.8	0.3	4.9	4.5	0.3
2019（令和元）年に加入	25.6	66.4	92.0	1.6	6.4	5.6	0.8
2018（平成30）年に加入	21.5	70.0	91.5	1.3	7.2	6.7	0.4
2017（平成29）年に加入	16.8	72.3	89.0	1.3	9.7	9.0	0.6
2016（平成28）年に加入	16.3	70.3	86.6	1.2	12.2	11.0	1.2

*かんぽ生命を除く

*2021（令和3）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「満足している」は「30～34歳」で41.0%と最も高く、「50～54歳」、「40～44歳」でも3割を超えている。(図表I-152)

〈図表I-152〉 直近加入契約（民保）の商品・サービスに対する総合満足度
(世帯主年齢別)

	満足している	満足どちらかといふ	満足	不明	不満	不満どちらかといふ	不満である	(%)
全 体	23.5	68.1	91.6	1.0	7.4	6.8	0.6	
29歳以下	22.2	62.2	84.4	0.0	15.6	15.6	0.0	
30～34歳	41.0	57.1	98.1	0.0	1.9	1.9	0.0	
35～39歳	23.3	70.8	94.2	0.0	5.8	4.2	1.7	
40～44歳	30.1	63.7	93.8	0.0	6.2	6.2	0.0	
45～49歳	25.2	67.6	92.8	0.0	7.2	6.5	0.7	
50～54歳	31.2	61.7	92.9	0.0	7.1	5.0	2.1	
55～59歳	23.0	67.5	90.5	2.4	7.1	7.1	0.0	
60～64歳	17.2	75.4	92.6	1.6	5.7	4.9	0.8	
65～69歳	21.4	66.9	88.3	2.1	9.7	9.7	0.0	
70～74歳	11.1	77.8	88.9	0.9	10.2	10.2	0.0	
75～79歳	6.9	82.8	89.7	3.4	6.9	6.9	0.0	
80～84歳	10.3	69.0	79.3	6.9	13.8	13.8	0.0	
85～89歳	25.0	62.5	87.5	0.0	12.5	12.5	0.0	
90歳以上	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

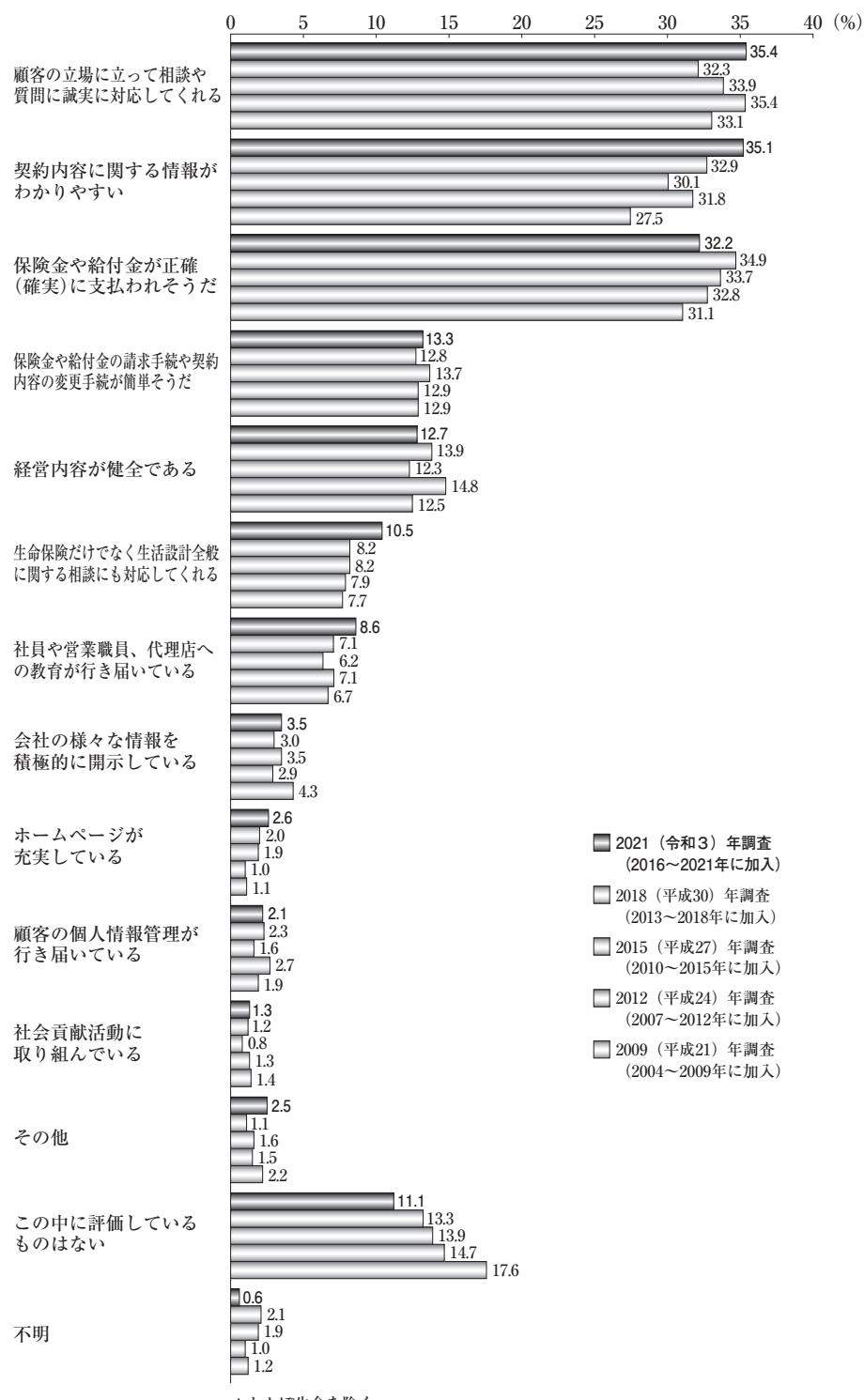
*かんぽ生命を除く

*80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(タ) 直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点

直近加入契約が2016（平成28）年以降の民保加入世帯（かんぽ生命を除く）に、直近に加入了生命保険会社について現在どのような点を評価しているかを尋ねたところ、「顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる」が35.4%（前回32.3%）と最も多く、次いで「契約内容に関する情報がわかりやすい」35.1%（前回32.9%）、「保険金や給付金が正確（確実）に支払われそうだ」32.2%（前回34.9%）となっている。（図表I-153）

〈図表I-153〉 直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点（複数回答）



加入年次別にみると、「顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる」は概ね加入年次が新しいほど高く、「2021（令和3）年に加入」で47.1%と最も高くなっている。また、「契約内容に関する情報がわかりやすい」も「2021（令和3）年に加入」では43.1%と高くなっている。（図表I-154）

〈図表I-154〉 直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点（加入年次別）（複数回答）

	誠実に立場に立つて相談や質問に応じてくれる	契約内容に関する情報がわかりやすい	支払われそうだ	保険金や給付金が正確（確実）	内容の変更手続きが簡単そうだ	保険金や給付金の請求手続きや契約	経営内容が健全である	生命保険だけではなく生活設計全般	が社員や営業職員、代理店への教育	会社の様々な情報を積極的に開示	ホームページが充実している	顧客の個人情報管理が行き届いて	社会貢献活動に取り組んでいる	その他	この中に評価しているものはない	不明
2021（令和3）年に加入	47.1	43.1	33.3	13.2	13.2	12.6	12.1	4.6	1.7	2.9	2.3	2.3	12.1	0.0		
2020（令和2）年に加入	42.4	35.8	28.1	12.2	14.9	11.5	9.0	4.2	3.1	3.1	1.4	3.5	9.0	0.3		
2019（令和元）年に加入	32.0	30.0	35.2	12.4	8.8	11.2	8.4	2.0	2.8	1.2	0.8	2.0	10.4	0.8		
2018（平成30）年に加入	32.3	34.5	30.0	12.1	12.6	9.9	9.0	3.6	2.7	0.0	0.9	3.6	11.2	0.4		
2017（平成29）年に加入	28.4	31.6	39.4	17.4	9.7	8.4	7.7	3.9	0.6	3.2	1.9	1.9	14.8	1.3		
2016（平成28）年に加入	27.3	37.2	29.7	14.5	16.9	8.1	5.2	2.9	4.1	2.9	1.2	0.6	11.0	0.6		

* かんぽ生命を除く

* 2021（令和3）年調査が対象

世帯主年齢別にみると、「顧客の立場に立って相談や質問に誠実に対応してくれる」は「50～54歳」で、「保険金や給付金が正確（確実）に支払われそうだ」は「70～74歳」で、「保険金や給付金の請求手続や契約内容の変更手続が簡単そうだ」は「65～69歳」で、「生命保険だけでなく生活設計全般に関する相談にも対応してくれる」は「30～34歳」で、それぞれ高くなっている。(図表 I - 155)

〈図表 I - 155〉 直近加入契約（民保）の生命保険会社について評価している点
(世帯主年齢別) (複数回答)

	(%)													
	誠実に対応してくれる 顧客の立場に立つて相談や質問に する情報がわかりやす	契約内容に関する情報がわかりやす	保険金や給付金が正確（確実）に 支払われそうだ	保険金や給付金の請求手続や契約 内容の変更手続が簡単そうだ	保険金や給付金の請求手続や契約 内容が健全である	生命保険だけではなく生活設計全般 に関する相談にも対応してくれる	社員や営業職員、代理店への教育 が行き届いている	会社の様々な情報を積極的に開示 している	ホームページが充実している	顧客の個人情報管理が行き届いて いる	社会貢献活動に取り組んでいる	その他	この中に評価しているものはない	不明
全 体	35.4	35.1	32.2	13.3	12.7	10.5	8.6	3.5	2.6	2.1	1.3	2.5	11.1	0.6
29歳以下	26.7	31.1	11.1	4.4	4.4	17.8	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	28.9	0.0
30～34歳	35.2	41.0	22.9	11.4	9.5	16.2	8.6	4.8	2.9	1.9	1.0	1.9	12.4	0.0
35～39歳	28.3	32.5	25.0	7.5	10.0	10.8	4.2	4.2	0.8	0.0	0.0	3.3	20.0	0.0
40～44歳	41.6	36.3	31.0	15.9	8.0	12.4	6.2	3.5	2.7	0.0	1.8	2.7	10.6	0.0
45～49歳	32.4	40.3	29.5	15.1	10.1	11.5	11.5	2.9	4.3	2.9	1.4	3.6	10.1	0.0
50～54歳	50.4	29.1	30.5	13.5	13.5	14.9	14.2	2.8	0.7	1.4	0.7	1.4	8.5	0.0
55～59歳	39.7	33.3	35.7	15.9	15.9	7.9	9.5	3.2	5.6	2.4	0.0	2.4	9.5	0.8
60～64歳	38.5	34.4	38.5	13.1	15.6	9.8	12.3	4.9	3.3	4.9	3.3	2.5	9.0	0.0
65～69歳	28.3	37.9	36.6	19.3	15.2	7.6	5.5	4.8	2.1	2.8	2.8	0.7	9.7	2.1
70～74歳	28.7	34.3	40.7	7.4	16.7	3.7	9.3	3.7	0.9	2.8	0.9	2.8	10.2	0.9
75～79歳	36.2	34.5	41.4	13.8	20.7	6.9	8.6	0.0	0.0	5.2	1.7	5.2	3.4	3.4
80～84歳	27.6	37.9	34.5	20.7	10.3	3.4	3.4	0.0	10.3	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0
85～89歳	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
90歳以上	33.3	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

* かんぽ生命を除く

* 80～84歳、85～89歳、90歳以上はサンプルが30未満

(2) 直近加入のかんぽ生命

(ア) 直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由

かんぽ生命加入世帯の直近加入契約の加入理由をみると、「希望にあった生命保険だったので」が23.5%（前回19.7%）と最も多くなっている。次いで「郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人が親身になって説明してくれたので」21.6%（前回27.5%）、「以前から加入していた郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人にすすめられたので」18.9%（前回21.0%）の順となっている。（図表I-156）

〈図表I-156〉 直近加入契約（かんぽ生命）の加入理由（複数回答）

(%)

	希望にあった生命保険だったので	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人が親身に	以前から加入していた郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人にすすめられたので	郵便局員・かんぽ生命の営業職員の人が知り合いで	家族、友人、知人などにすすめられたので	郵便貯金（定期貯金など）が満期になったので	掛け金が安かつたので	無診査だったので	かんぽ生命の生命保険、年金保険は利回りがいいから	政府が間接的に株式保有しているので安心でき	そうと思うから	加入後のサービスがよいと思ったので	従来なかつたような新しい生命保険だったので	近くに他の生命保険会社、県民共済・生協等、JA（農協）が無く、これらの保険や共済に加入することができないから	その他	不明
2021 (令和3)年	23.5	21.6	18.9	16.1	13.1	9.3	9.1	5.7	4.0	3.8	3.6	1.5	0.8	0.4	5.3	13.1
2018 (平成30)年	19.7	27.5	21.0	16.3	11.2	5.6	9.8	7.3	5.0	3.8	5.4	3.5	1.7	0.6	3.5	17.5
2015 (平成27)年	19.2	23.9	19.4	16.2	14.9	8.5	11.5	7.2	5.8	5.8	5.3	2.6	1.7	0.4	4.1	12.2
2012 (平成24)年	21.0	24.6	18.6	18.1	14.6	8.4	12.4	9.8	7.6	5.0	8.6	2.4	1.9	0.2	4.5	9.8
2009 (平成21)年	19.6	23.5	22.6	22.2	14.3	7.0	12.2	10.9	6.5	4.8	5.7	0.9	1.3	0.0	2.2	14.8